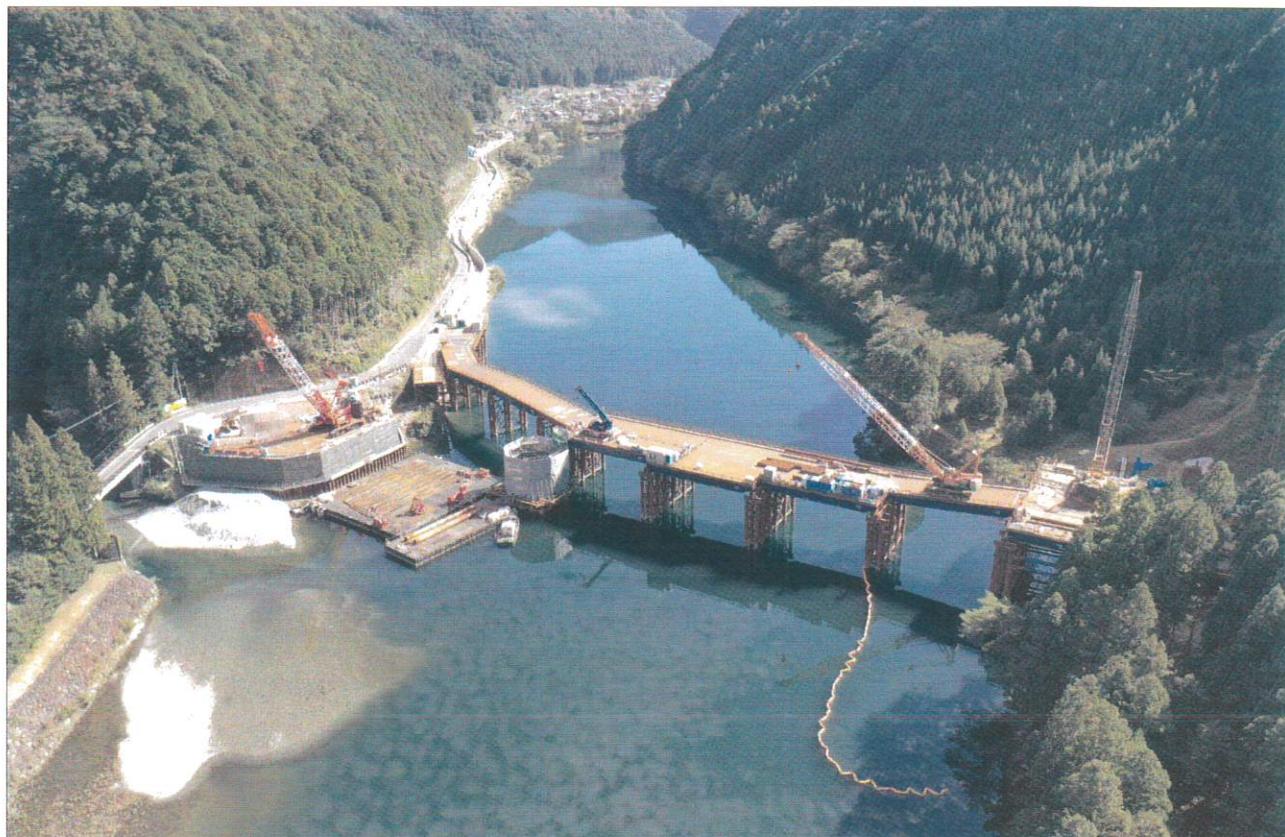


NO. 39 令和3年11月5日発行



北山村 議会だより

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207



奥瀬道路Ⅲ期工事（10月末の状況）

令和3年9月定例会が開催されました

令和3年度補正予算案・条例改正案等を審議／可決 P 2

全員協議会・定例会での協議 議員発議について P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和3年9月定例会

～令和2年度決算認定・

令和3年度補正予算等を審議・可決～

本定例会は、9月22日、24日（会期3日間）で開催されました。22日の開会日は、諸般の報告として、村長の行政報告並びに提案理由の説明が行われました。

その後、議案の審議を行い、令和2年度決算認定等、条例制定の議案、令和3年度補正予算などが審議されました。

最後に議員発議として、久保学議員からコロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書についての議案、藪本英明議員から北山村手話言語条例の制定についての議案が上程され、すべての議案が原案どおり認定、可決されました。

2日目の24日は一般質問が行われ、藪本英明議員、前岡武津雄議員、久保学議員、山口廣一郎議員の順に村行財政についての質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

質問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
認定第1号	令和2年度北山村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	令和2年度北山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和2年度北山村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和2年度北山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号	令和2年度北山村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号	令和2年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号	令和2年度北山村地域振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について
報告第5号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率について
報告第6号	令和2年度決算に基づく公営企業にかかる資金不足比率について
議案第36号	北山村過疎地域持続的発展計画の策定について
議案第37号	北山村過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
議案第38号	北山村半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について
議案第39号	令和3年度北山村一般会計補正予算（第3号）について
議案第40号	令和3年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第41号	令和3年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
議案第42号	令和3年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第1号）について
発議第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
発議第2号	北山村手話言語条例の制定について

「手話も言語!」 北山村手話言語条例の制定について

今回の定例会で北山村手話言語条例が制定されたことにより、ろう者とろう者以外の者が共生できる地域社会の実現に向けて、手話が言語であるとの認識に基づき、手話を普及させ、手話が使用されやすい環境が整備されることが期待されます。

予算・条例改正について議員が問う！

全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】移住定住に力を入れて
いる自治体が多いが、今後移住
定住の奨励金を増額する考えは
ないか？人口増加のために空き
家を活用した移住定住の促進を
図っていただきたい。

【回答】移住定住の補助金については、財政との兼ね合い、また世代間の公平性もあり、議会との調整で決めています。

空き家の活用については、空き家バンクに登録している空き家はありますが、すぐに住める空き家は少ないのが現状です。

質問 過疎地域持続的発展計画の策定についてはすでに計画期間が始まっている。

計画の策定にあたり長期計画との整合性は図られているか。また、各事業に数値目標を定めた方がいいのではないか。

【回答】過疎計画よりも長期総合計画の方が上位にあり、過疎計画の策定には他の計画とも整合性を図つて作成しています。過疎債を適用する条件として過疎計画に定められている事業に対しても適用ということがあるのでこの計画を策定している。

【質問】事業者支援の100万円はどの業者にいつごろ給付されるのか？観光協会の会員だけが対象になるのか？

【回答】コロナの影響を直接受けたラフティング事業者や飲食業が対象で、観光協会に業者を選定してもらい、2人以上の事業者は10万円、3人以上の事業者は16万が交付されます。予算の議決後1か月程度で交付予定です。

【質問】夏休みに子育て支援対策として「じやばらハウス」の試行を行つたが、利用者は何名いたのか。

【回答】7月の利用は5日間の開催で延べ利用者は39名、8月は8日間の開催で延べ利用者は85名でした。

アンケート結果においても好評を頂いており、「じやばらハウスのおかげで安心して働きに出られました」などのご意見を頂きました。

【回答】ニロナの影響を直接受けたラフティング事業者や飲食業者が対象で、観光協会に業者を選定してもらい、2人以下の事業者は10万円、3人以上の事業者は16万が交付されます。予算の議決後1か月程度で交付予定です。

【質問】夏休みに子育て支援対策として「じやばらハウス」の試行を行つたが、利用者は何名いたのか。

【回答】7月の利用は5日間の開催で延べ利用者は39名、8月は8日間の開催で延べ利用者は85名でした。

令和2年度決算認定

令和2年度決算認定

今回の9月定例会において、令和2年度一般会計及び特別会計の決算認定の議案が提出されました。審議にあたり葛城健也代表監査委員から意見書が提出され、一部指摘事項もありましたが全会一致で認定されました。

決算審査の意見書では以下のとおり指摘がありました。（要旨）

①水道使用料、村営住宅使用料では未収金が発生しており、負担の公正性確保のため、また滞納額を増加・累積化させないために、口座振替を推進し確実に期限内に納付するよう取り組むこと。

②財政面での不均衡がみられたのに対応するため、今後、不要な支出を抑えるなど財源に見合った財政運営を行い、基づき金からの繰り入れを抑制すること。

③補助金を交付された事業、団体等に付いては、交付規則に準じ、事業報告等により、当該事業の成績を確認するとともに、執行額に見合つた補助を行うこと。

④地域振興事業から得る収益は貴重な財源であるが、コロナウイルス感染症対策のため観光事業による収入が大幅に減少した。

感 染症対策を行い、新しい観光メニューの開発や商業活動の充実を図り、観光協会を中心とした連携強化に努めていきたい。

(5) 今後も基金を取り崩さないと事業が執行できない厳しい財政状況が続くと見込まれるので、予算策定の際に不要な支出の見直しを行うとともに、中長期的な財政計画の策定を行い、安定した財政運営に努めること。
⑥ ふるさと納税は寄付者が寄付した自治体の各種事業に使うことで地域を応援するもので、村は寄付金の活用のため寄付額の大幅な減少することも予想されるため、基金からの繰入に頼らなければ安定した財政運営をお願する。
⑦ 地方交付税の減少、基金残高の減少、基金を取り崩さないと予算が組めない状況など、村の財政が緊迫している今、あらゆる基準を見直し、行政改革を行っている。若い世代が安心して暮らせる安定した財政運営を行つたいただきたい。
⑧ 村行政の予算・事務の執行は、村民及び関係機関からの信用に繋がることから、迅速かつ正確な執行が求められるが、審査において一部ではあるが誤りや不適切なものが見受けられた。
各部門において誤りを繰り返さないために担当者任せにならないよう、チエツク体制の強化、事業の進捗管理の徹底、効率的な事務処理方法の検討など、組織として内部統制機能の強化、更なる強化に取り組んで下さい。

一般質問 防災について

防災について

藪本 英明



くための啓発用小冊子を全世帯に配布します。

ハザードマップについてはホームページで用語の説明するなど対策を講じます。ハザードマップは作成から5年が経過していますので急傾斜・土石流のイエローバンは見直しが必要です。

(中森総務課長)

【質問】 行政は地域住民への行政サービスの提供と生命・財産を守るのが最重要な使命だと考えている。平成23年の紀伊半島大水害から10年が経過し、防災に対する意識が薄れていますように感じている。北山村の防災計画の改定が行われているが、その内容はどうなものか?

平成28年3月発行の北山村のハザードマップは用語の意味、内容が分かりにくいで住民に再度配布してはどうか?

【質問】 南海トラフ地震発生時には各集落が孤立することが予想されますが、緊急時の職員招集についてどのように考えていますか?

村外から通勤している職員もいますがそれの対策や出張等で多くの職員が不在の時もあるので職員の招集についてどう考えているか。

【質問】 緊急時の職員の招集については緊急連絡網やラインにより全職員に連絡が伝わります。南海トラフ大地震等の大災害の場合は震度4以上で幹部職員、震度5以上で全職員が登庁し警戒配備することになっています。

【答弁】 防災計画については現在改定作業を行っており、国・県の防災計画に沿って改訂を行い、感染症対策や防災対策上特に留意すべき課題などを反映させます。

村民の皆さんに防災や感染症予防に関する日頃から意識していただけます。

（中森総務課長）

かかるので、職員には月曜から金曜までは村内で滞在してもらうことを考えていますが、官舎など必要になることと、その縛りがでくるかという問題もあります。

(山口村長)

【質問】 大沼、下尾井はヘリポート又はそれに替わるものがあるが、七色渡にジャバラ加工場を建設すると七色、竹原地区にヘリが下りられる場所がなくなるのでヘリポートに替わるものが必要ではないか?

【答弁】 ヘリポートの候補地として七色の里キャンプ場を調査して

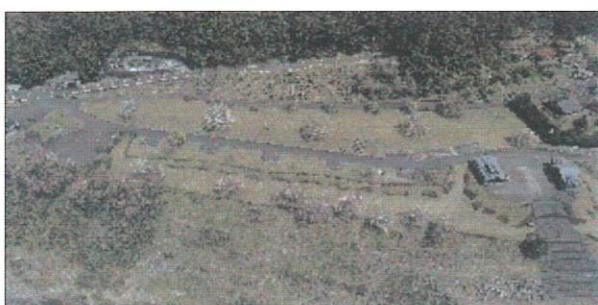
いるが地形や民家、送電線などからヘリの着陸場としてはふさわしくないという結果でした。しかし、ヘリコプターは垂直の離着陸ができることから、緊急時はある程度のスペースで離着陸ができ、また、防災ヘリなどはホバリングして救助が可能ですのでヘリポートがなくても大丈夫と考えています。

(中森総務課長)

北山村では避難所が4か所設置されているので、最低4名の避難所運営リーダーの養成をお願いします。

【答弁】 避難所運営リーダーは長期の避難を想定しており、各地区的避難所は災害時の一時避難所となっています。長期の避難所としては福祉避難所として指定している村民会館や高齢者生活福祉センターになります。今後、運営リーダーの養成を行うのであれば、社会福祉協議会の職員やボランティアとして研修を受けてくれる住民を対象として実施することを検討します。

(中森総務課長)

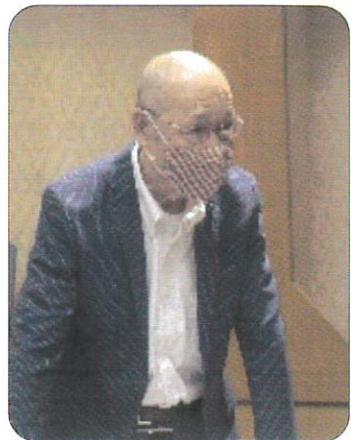


ドローンで撮影した七色渡地区のなないろの里公園。災害時の被害状況の確認などに役立てるため、村ではドローンを1台保有し、4名の操縦経験者がいます。

一般質問

- ①みくまの農協北山支所建物の有効利用について
 ②北山保育所の移転と高齢者生活支援ハウスの増設について

前岡 武津雄



【質問】みくまの農協北山支所は来年5月をもって新宮支所に統合され、建物は空き家になる。建物の床下を見せてもらつたが腐りもなくシロアリにもやられていない。がつちりした木材が使われていた。建物は立地条件の良い建物なので、譲り受けて、月に一回、おくとろ温泉、山永サービス等に出店してもらつてはどうか。また、野菜市、フリーマーケットなどをイベント的に開催してはどうか。

空き家対策にもなり生活環境の充実にもなる。住民の憩いとふれあいの場として利用してはどうか。

【答弁】みくまの農協北山支所の撤退について、建物の維持管理は大変なので解体をお願いし

【答弁】高齢者生活支援ハウスは平成28年度に5室増床し、現在14室で運営している。さらに増床するとなるとスペースの問

【質問】今後、高齢化が進み高齢者数が増加すれば、生活支援ハウスに入りたくても部屋がいっぱい入れないことが考えられる。現在は13床に対してもやられていらない。がつかりした木材が使われていた。希望するお年寄りがいつでも入れるよう、予備の部屋を確保しておけば安心して生활でき福祉の充実につながる。

保育所を小中学校の敷地に移転させて、保育所の跡地に生活支援ハウスを増設してはどうか。保育所を同じ学校敷地内に建築すれば「保、小、中」一貫した教育の取り組みができる、先生同士の情報交換などによって子供たちが保育所から中学校まで充実した学びができる。

【質問】建物は耐震化されている。建物は耐震化されていないので将来解体費用が必要になる。譲り受けるとしても解体してからと申し出ている。

(山口村長)

保育所の移転については、これから大幅に園児が増え、今の保育所では手狭になる状況ですと移転も考えられます。園児の減少ということになると現在の場所で保育所を運営していく考え方です。

(山口村長)



社会福祉協議会と増床した
高齢者生活支援ハウス

題、また運営面でヘルパーや理員などギリギリの状況で継続できるかが大きな課題である。また、介護については保健師、理学療法士を採用して在宅介護にシフトしている。

保育所は20名の定員のところ15名の園児数となっています。来年度は9名が卒園しますので園児数が減少します。



七色と竹原の間の倒木の写真

議会の防災の知恵袋

No. 12

今年は大きな台風もなかったですが、7月には写真の様に七色と竹原の間の国道で突然の倒木がありました。事故や怪我に繋がらなくてよかったです。倒木や落石などはどこで起きててもおかしくありません。

役場から非常食などの配布がありますが、停電や断水に備えて、懐中電灯の電池、力セットコンロ、ミネラルウォーターなど、備えは十分ありますか？

災害は忘れた頃にやってくるといいます。防災面をもう一度見直し、いざというときの備えをしておきましょう。



一般質問

七色渡地区から熊野市神川への大橋の建設促進について

久保学



【質問】 国道169号、奥瀬道路については、高須村長・三谷村長・奥田村長、そして現在の山口村長と継続して取り組んでいただき完成の目途がたってきました。道路事情が良くなると経済効果は良くなるのか。逆に悪くなるという考え方もある。北山村では新宮、田辺方面から熊野市、尾鷲方面への单なる通過だけでも終わらず、休憩場所、立ち寄つてもらえる場所として、春は桜、夏は筏、ラフティング、虫など自然を活かした体験などできる村になるように観光関係に力を入れていただきたい。

七色大橋の建設要望について質問をして、その後平成31年3月定例会では福村議員も一般質問を行つたが、再度質問します。

奥瀬Ⅲ期工事の完成まであと数年となつてきて、益々観光入込客の増加が見込まれます。七色ダムの上は交通量が増加すると大変危険な面があります。9年ほど前から、前奥田村長と神川地区に行き地元として協力のお願いをして新しい大橋をかける組織作りをやつてきおり、また、上北山村、下北山村にも出向き協力をお願いしてきた。山口村長には国への働きかけなどタイミングを見ながら進めています。地元としては、区長会で熊野市への陳情活動も行つております。神川区でも活動を行つて頂いています。今後、どこの主導権を持つて進めていくのか。北山村か熊野市か、和歌山か三重か。近畿地方整備局か中部地方整備局なのか。

七色大橋が道路関係においては最後の大きな事業と想うので、地元の組織としての陳情も大切ですが、首長が動かないと何も進まないし、首長がや議会は任期等あるので、継続した政策として取り組んで戴きたい。

国道169号線の七色～五郷間は三重県になるので、169号改良促進協議会に加入して、唯一2車線化されていらない箇所について改良促進に取り組んでいきたいと考えています。

今後は熊野市との連携が重要なつなてくるので熊野市長と思いが共有可能したら「七色大橋を実現する会」の組織を広げることが必要と想っています。

なお、協議会において国土交通省、三重県、奈良県、3県の国会議員に対して169号を重要物流道路として指定していただき要望活動を行いましたので、指定されれば改良が促進されることが期待されます。

(山口村長)



対岸から見た七色ダム

【答弁】七色大橋についてのこれまでの経過としては、平成28年8月に神川区長連合会が熊野市長に要望を行い、五郷町から神川町を経て七色地区に至る国道169号のバイパスの整備を求めた。平成29年7月には「七色大橋を実現する会」の役員会が開催され奥瀬Ⅲ期工事の進捗を見た中で行動していくことが決議されました。また期成同盟は事務局を北山村に置くこととし、平成30年4月には神川区長会と北山村区長会で熊野市長に要望活動を行っています。

奥瀬道路	延長	事業費
I期工事	6. 3 km	210億円
II期工事	5. 2 km	139億円
III期工事	3. 4 km	125億円
奥瀬道路全体	14. 9 km	用地費、測量設計などを含むと700億円～750億円とも言われている

一般質問

観光施設の老朽化対策は? 「筏師の道」「ダム観光」について 山口 廣一郎



することとしています。

利用者が安心して施設を利用

できるよう日常的な清掃や安全管理を怠らないよう指示しております。必要な修繕等は村の責任において確実に実施し利用者の安全確保に努めます。不良個所での事故によって利用者が怪我をした時など責任問題にもなりかねないので施設管理者側と連携を密にし対応に不備がないようにします。（尾中地域事業課長）

【質問】 経年劣化により、温泉、おくどろ公園キャンプ場バンガローの等の各施設に「雨漏り、空調の不具合、危険個所の不備」が出てきているが利用者の安全安心の確保の為、早急に修理が必要だが、修理にかかる費用負担、点検整備等、指定管理者側との取り決めはどうのようになつていいのか？安全管理の面からと施設の不備により事故があつた場合管理者責任が問われかない。これを含めて、今後の運営をどう考えるか。

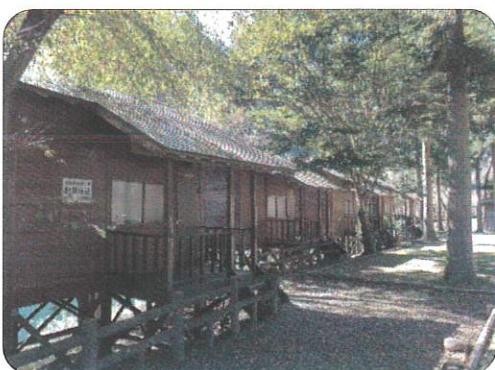
【答弁】 指定管理者との取り決

めで破損や老朽化により必要になつた修繕のうち軽微なものは指定管理者において、大規模な修繕、増改築は村の負担で実施

【質問】 じやばら産業、筏觀光を主体に観光立村として前に進むべきだが、観光事業の一環である「筏師の道ウォーク」の普及活動と今後の展望は？新しい観光メニューの開発と

いうことで池原、七色、小森ダムを観光スポットとして三重、奈良、和歌山の三県、上下北山三村連携してダム観光を推進していくはどうか？

【答弁】 筏師の道は10年ほど前から取り組み、ジオパークエリアにも含まれています。この2、3年で旅行会社のツアーも企画



おくどろ公園のバンガロー

今後どういった形ができるかを模索したいと考えています
(三浦観光課長)

が現小 ムなや 上を(村でこ配株)の訪在森觀のど貯力で希ダムセンタードムら委託されてダム力ードて電源開発されまダム力ードす。参加された方の口コミやSNSでの情報発信、旅行会社の新たなプランの提案など普及活動に努めます。

密かな？人気
ダムカード



議会日誌

(8)

北山村議会だより

9月（長月 ながつき）

- 9日 議会運営委員会（村民会館会議室）
 16日 全員協議会
 22日～24日 9月定例会（役場）
 28日 株式会社じやばらいず北山取締役会（じやばらいず北山会議室）

10月（神無月 かんなづき）

- 1日 東牟婁郡町村議会全議員研修会（串本町）

- 3日 新宮市文化複合施設開館記念式典出席会（新宮市）

- 6日～7日 県土整備部への要望活動（和歌山市）

- 22日 紀南河川国道事務所への要望活動（田辺市）

- 28日 和歌山県町村議会議長会（和歌山市）

- 30日 正副委員長研修会臨時総会（和歌山市）
 紀の国わかやま文化祭2021開会式出席（和歌山市）

11月の予定

11月（霜月 しもつき）

- 10日 総務建設常任委員会（村民会館会議室）
 東牟婁郡町村議会議長会臨時総会（那智勝浦町役場）
 下旬 国會議員への要望活動（東京都）

和歌山県への要望活動

10月6日、和歌山県土整備部に対して道路改良促進の要望活動を行いました。

区長会も同行し、中弘也区長会長が和歌山県のこれまでの道路改良のお礼と今後、未改良部分の早期完了を要望しました。

奥瀬道路の完成を見据えて、今後自動車やバイクなど交通量がますます増加することが予想されているので、竹原く相須間、大沼地内などについて早期の2車線化を要望しました。

コロナも住民皆様の協力とワクチン接種の効果で少しづつ平常に戻りつつあり、このままいけば久々に楽しい正月が迎える事が出来るので、と期待しています。今回のひとり言は堅い話になりますが選挙権について思うことを。

選挙権行使する機会は、衆議院議員、参議院議員、県知事、県議会議員、村長、村議会議員の6回の選挙があります。

この選挙権は1889年に一定額以上の納税者で25歳以上の男子に与えられて以降、1946年からは20歳以上の男女と定められ、2016年からは18歳以上の男女に変更されました。

私自身は1980年（昭和55年）の衆参同日選挙で初めてその権利行使し、その後一度も棄権することなく投票を行っています。。。

全国的にみると最近の投票率は非常に低く、特に都市部、若者層に顕著に現れていて大きな問題だと危惧されています。日本の国政選挙の投票率は1947年中139位だそう他の国では子供のころから模擬投票を行うところや、投票に行かない人に罰金を課すところもあるそうです。幸いにも北山村はどの選挙でも高い投票率で政治への関心、地域を良くしようと思う気持ちが強いので毎回高い投票率に繋がっています。このことは日本全国どこにでも誇れることです。せつかく与えられた選挙権ですが、その権利行使しましよう。その結果によつて国、県、村の将来が大きく変わることもあります。

この議会だよりが発行されている頃には衆議院議員選挙も終わつていてタイミングが悪いにもかかわらず、最後まで読んで頂いてありがとうございました。

毎朝めつきり寒くなつてきましたので、村民の皆様にはどうぞご自愛下さい。

北山村議会議員 藪本英明

議員のひとりごと

